

定禅寺通活性化検討会 2019年度 年次計画

【2019年4月1日～2020年3月31日】

1. 方針

- 前年度に整理した検討項目などを中心に、幹事会やワーキンググループなどで議論を継続し、定禅寺通エリアの将来像やその実現に向けた取組みについて、実践・検証を積み重ねながら、2020年度のまちづくり基本構想（検討会案）のとりまとめに向け、内容をより具体的なものとし議論を深めていく。また、検討内容の有効性を確認するための社会実験等も実施する。
- 検討内容やその状況について、広く市民に公開し、意見を収集する機会としてワークショップ等を実施する。

2. 活動計画

①会議の開催

区分	概要	対象
全体会	・重要な決定事項がある場合など、必要に応じて開催する。	正会員
幹事会	・検討状況に応じて適宜開催する。（年6回程度を見込む）	役員
ワーキンググループ	<p>・主に下記テーマについて、専門家や行政関係者等と意見交換を行いながら、論点を整理し、社会実験や基本構想案に反映する。</p> <p><u>主なテーマ</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 道路空間の再構成（継続して複数回予定） 道路空間再構成の実施可能性について、現状課題や周辺交通への影響も踏まえながら意見交換し、その他、プロジェクト型WGや一部車線規制社会実験の検証結果もフィードバックしながら、本格的な社会実験（2020年度想定）の方向性を整理する。 ✓ ケヤキ並木でつながる緑空間 定禅寺通を介して西公園・市民広場と一体的な魅力を高めるため、緑陰空間の利活用や樹木の管理・保全状況などについて情報共有や意見交換を行い、市施策との連携を図る。 ✓ 都心回遊性を高める公共交通 街なかの回遊性向上を目指し、仙台駅前～定禅寺通エリア間の公共交通の利便性を高める方策を検討する。 ✓ 魅力的な夜の景観 より良い夜間景観について、ナイトウォークの結果も踏まえながら、専門家を交えて効果的な明るさの演出手法について意見交換する。 ✓ エリアの魅力向上と高収益化が両立した不動産 主に不動産オーナーを対象として、グランドレベルからの通りの魅力づくりや、ビルのリノベーションや建替え等を機会とする街の活性化などについて勉強会を実施する。 	会員，専門家，行政関係者等

プロジェクト型WG	<p>・具体のアクションアイデアを持つ会員グループが、小規模又は短期間における試行的な実践を通じて、継続的な実施の可能性を模索し、その課題や成果を基本構想案等の検討に反映する。</p> <p><u>想定されるテーマ(※幹事会での承認が必要)</u></p> <p>✓ 公共空間の利活用 賑わいづくりやコミュニティづくりを目的に、公開空地や店先空間、道路や公園等の公共空間の利活用などの実現可能性について実践的に検証を行う。</p> <p>✓ エリアブランディング 戦略的な情報発信の試行や企業協賛イベントの企画実施などの実現可能性について実践的に検証を行う。</p>
-----------	---

②市民参加型ワークショップ等の開催

- ・本会における検討内容やその状況について、広く市民に公開し、また意見を収集する機会としてワークショップ等を実施する。ワークショップ等で得られた意見は、本会の議論にフィードバックし、反映する。
- ・複数回の開催のうち1回は、一部車線規制を伴う社会実験と合わせて行うことを想定している。

③定禅寺通エリアまちづくり基本構想の中間案の作成

- ・2020年度を目途にとりまとめる「まちづくり基本構想」の中間案を作成する。これには、前年度にまとめた取組みの方向性や、本年度中に実施する実践・検証の結果を反映させる。

④情報発信など

- ・定禅寺通エリア関係者（会員以外も含む）にむけて、ワーキンググループやワークショップの実施状況など本会の取組みについて、ニュースレターを発行する。
- ・一般公開のフォーラムなど、広く市民に周知するイベントを開催する。

以上